



淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。第15回目は、新北野地域です。

① 写真がまちと人を繋ぐ

淀川河川敷沿いに、オシャレな空間があります。2009年にオープンした写真専門ギャラリー「ブルームギャラリー」のオーナーは、「もともとギャラリーという場はヒト・モノ・コトを繋ぐ場所としての役割がある。」と語ってくださいました。今興味があることは、地域に根ざした写真を残していくこと。今後は、地域の人々と一緒に個人が保有する昔のアルバムから、



② 十三の渡しと久兵衛さん

昔、街道を旅していた人たちが、淀川を舟で越えるために利用した渡し場が川の北側にあり、「十三の渡し」と呼ばれていました。渡し場では舟を待つたくさんの人で賑わっていたそうです。

当時は休憩する茶店などもあり、享保12年(1727年)に久兵衛という人があん焼きをはじめ、参勤交代で旧西国街道を通行した諸大名にも親しまれたとのこと。時代に合わせてお店の形を変化させながらも、素朴な味は脈々と受け継がれています。



③ 淀川河川敷

河川敷に座って優しく流れる川と、活気ある大阪の街並みをゆっくりと眺めているだけで元気が回復! 8月5日(土)に開催されるなにわ淀川花火大会の時にはこの水面一帯に打ち上げ台船がずらりと並びます。



当時の建物や服装、まちの行事といった「文化」としての写真を残す活動をしていきたいとのこと。写真が持つ、たくさんの可能性を感じる場所です。

淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!

やまちゃんの「ごころ」

淀川区長 山本 正広



地域の実感しました

この原稿を書いているのが6月上旬。この1か月にもいろいろな地域イベントに参加させていただきました。

防災訓練としては木川南地域や三国地域。運動会としては三津屋地域。祭りとしては北中島地域。スポーツ大会としては区民バレーボール大会。地域活動協議会ブロック会議としては西ブロック(神津、新北野、塚本、田川、三津屋、加島)。

予定が重なり参加できなかったのですが区民ハイキング大会、塚本地域の運動会、十三こどもキラキラ祭りもありました。このほか、字数の関係で全ては記載できませんが、様々な団体の定期総会にも参加させていただきました。

どの行事に参加しても、区民の皆さんの熱さを感じます。淀川区を少しでも良くしたい、そのためにできることは何だろう。そう考えておられる気持ちがひしひしと伝わって

きます。そのたびに元気をいただいて、もっと私も頑張らないとあんなあと思う毎日です。

最近、何人かの方から「区役所の職員さんの顔が明るくなったんちゃうか。いきいきと仕事してるで」と言われました。区長として何より嬉しい言葉です。職員と一丸になって、さらに素晴らしい淀川区になるよう取り組んでいきます。



▲三国地域防災訓練でのバケツリレーの様子

